



# 町長日誌 No.114

町長日誌の第114号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

**4月17日(水) PM6:30**

平成25年度が始り、人事異動があり、各団体の総会などが続き今週は少しスケジュールが空いたなと思っていましたら来客が多く日誌を書くのがこの時間になってしまいました。明日から来週にかけて出張が多くあまり役場にいませんので、先程担当者から「いつ出来るのですか？」と、くぎを刺された訳です。さて、3月末で興部町が所管しているし尿処理の衛生センターを含め5人の管理職が退職し、これ以外に早期退職を含めて4人の職員が退職しました。新採用は一般事務職で5人、土木技師1人、ケアマネージャー1人、看護師4人と久しぶりの大量採用となりました。

ケアマネや看護師などでは臨時から本採用に切り替えた人も多いのですが、これは、今後も退職が多いためへの対応です。不慣れなため、町民皆様に対応などでご不便をおかけすることも有るかも知れませんが、どうかご理解をお願いします。

**3月31日(日)**

『財政再建10ヶ年終了！目標達成!!』

平成15年2月、町議会で自主的な「財政再建計画」を議決しました。きりぎり建設に伴い、また小泉内閣が打ち出した地方交付税削減方針により興部町は財政運営が極めて厳しい状況が想定され、議員の給与削減と定数減、理事者・職員などの人件費の3ヶ年大幅削減、各種補助金の見直し、普通建設事業のための起債(借金)は毎年1億円以内に留めるなどを10年の計画として決め、私が町長になり今年3月31日で満10年が経過しました。私が町長選で公約しました「借金を10年で半分にする！」と言うのは、この事を根拠としたからなのでした。このため、町民の皆様には様々なご不便をおかけし、またご協力を頂きましたことに心から感謝を申し上げます。お陰様で、3月末の起債(借金)残高は68億800万円で、このうち国が交付税に代わる制度として導入しました「臨時財政対策債」分を差し引きますと50億5,600万円となり、10年前には120億円を超えていた起債総額が半分以下になりました。しかし、私も基金(貯金)については、借金を減らすことで精一杯なので難しいだろうと思っていましたが、お陰様で20億8,600万円と10年前約9億円程度でありました基金も2倍以上にすることが出来ました。特に、出し入れのしやすい「財政調整基金」は13億円を超えることが出来ましたので、今年度から予定しています国保病院建設のための財政基盤が十分に出来たこととなります。これも、重ねて町民皆様のご理解ご協力と、議会や関係機関皆様のご支援の賜物と厚くお礼を申し上げます。この町長日誌114号の紙面をお借りしまして町民の皆様に興部町の自主的財政再建期間の終了と目標を達成しましたことを宣言させていただきます。しかし、町の税収は4億数千円で毎年20億円を超える地方交付税で町の財政は成り立っています。従いまして、再建期間はひとまず終了しましたが、引き続き計画的な財政運営に心掛けてまちづくりを進めてまいりますので、これからも宜しくお願いを申し上げます。

今年も間もなく牧草地での肥料散布が始ります。行者ニンニクやタラの芽、ヤチブキ等の山菜が美味しい季節です。ただ、クマが増えていますので十分ご注意ください。TPP問題が私たちの地域にどのような影響を及ぼすのかとても不透明で心配ですが、何よりも私たちがこの豊かな土地を大事に思う気持ちを強く持つことが大切だと思います。ひょっとすると、この時期にしか味わえない季節の食べ物を味わい感激することがまちづくりの原点かも知れませんね！では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL82・2131です。